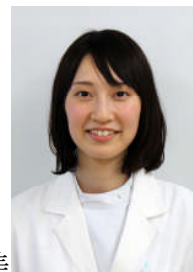


## 和歌山病院での実習を終えて



坂野 真美

この度は12月4日、5日の2日間実習でお世話になり有難うございました。先生方やスタッフの方のおかげで大変有意義な実習となったと感じています。

実習では施設の見学とセミナーを受けました。和歌山病院には和歌山県で唯一結核病棟があり、見学をさせていただきました。N95マスクを着用し、いざ結核病棟へ向かう時は少し緊張しました。結核は空気感染するため感染対策が重要であるということを今まで医学を学ぶ中でたくさんきいてきたので、結核病棟に閉鎖的なイメージをもっていたのです。しかし実際は二重扉や陰圧・陽圧管理などで一般病棟と比べると厳重な管理が行われているものの、N95マスクの着用などちょっとしたことを守れば一般病棟と変わりなく出入りができました。結核に過敏に反応したり必要以上に感染防御する必要はないと学びました。また、正しい知識を学び適切な管理、適切な接し方をすることは患者さんに不快感を与えないためにも重要であると感じました。結核についてはセミナーでも丁寧に教えて頂き、感染対策のことだけでなく発病の仕方など詳しい病態まで説明して下さり理解を深めることができました。

レントゲンの読影についてのセミナーでは、内容についていこうと頭を働かせました。南方先生は理解することが大事だと、私たちが納得するまで時間をかけて下さり、ひとつひとつ考えさせて下さったので普段暗記ばかりしている頭に油をさせたと思います。なぜレントゲンで線ができるのかといった今まで考えたことがなかったような根本的なことから考えさせ教えてくださったことで、レントゲン写真がどういうものなのか、どのようにうつるのかなどが完璧ではないですが理解できたと思います。これからレントゲンを読む時は先生に教えて頂いた読影のポイントを意識してみようと思います。

食事会では先生とたくさんお話ができてとても楽しかったです。宮子姫の伝説のお話なども面白く、時間があっという間に過ぎました。

最後に、南方病院長、駿田副病院長をはじめとする多くの先生方、職員の方々には貴重なお時間を割いてご指導していただき感謝しています。短い時間でしたがありがとうございました。